

公表

事業所における自己評価総括表

事業所名	発達支援ルーム にこっと 高円寺教室		事業種類	児童発達支援
保護者評価実施期間	2025年 12月 20日 ～		2026年 1月 12日	
保護者評価有効回答数	(対象者数)	73	(回答者数)	45
従業者評価実施期間	2026年 1月 15日 ～		2026年 1月 23日	
従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数)	13
事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 25日			

事業所の強み（※）と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや 意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
個別担当のみならず、スタッフ全体で子どもや家庭の状況、様子を共有できている。	・振り返りの時間で個別療育の内容だけでなく、様子や変化なども共有できている。	・関係するスタッフが全員で振り返りに参加できないことも多いので、短時間でも共有の機会をしっかりとっていく。
職員間のコミュニケーションや、多職種での連携が取れている。	・グループの課題を複数人で考えている。 ・振り返りや準備の時間にプログラム内容の相談や情報交換を行っている。	・ツキイチ研修などで専門の内容の研修を実施する。研修受講の報告研修を行う。 ・引き続き、療育準備やふりかえりの際に多職種での検討を行う。
子どもの興味関心や季節・時期に合わせた療育内容を提供している。	・子どもの課題と興味関心を考えあわせ、オーダーメイドの療育内容を行っている。 ・絵本なども季節・時期に合わせた内容を提供している。	・引き続き、子どもたちが季節や行事等に興味関心を持てるような工夫を行う（季節に合わせた壁面装飾・作品掲示） ・療育内容に専門職の意見をより取り入れる。

事業所の弱み（※）と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や 工夫が必要な点等
個別療育時に声が聞きとりにくい、プライバシーが保たれにくい。	個別のブースが完全に独立していないため。	振り返りの際に待合室やひだまりを活用する。必要に応じて個別面談を活用していく。
2階だがエレベーターがないため、ベビーカーを利用している利用者等が不便を感じる。	スタッフが持ち運びをしている。	連絡を頂き、スタッフが迎えに行ったり、帰りの際にスタッフがベビーカーを降ろすのを手伝っている。
全体に共有したいことの周知が弱い。	掲示物が分り易く提示できるスペースが取りにくい（教室の構造上）	現在、担当者レベルでの情報共有にとどまっている。全体での周知をもっとしていけると良い。（休室日、感染症の際のガイドラインなど）

事業所名 発達支援ルーム にこっと 高円寺教室

(児童発達支援)

公表日：2026年 3月 25日

利用児童数：73

回答数：45

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	37	6	1	1	・こどもの手洗い場の石鹸に✕が書いてあり、使えないのかな？と子供がはじめは感じていました。 ・満足しています。	・手洗いの石鹸器具を取り外す、 ✕をなくして説明をわかりやすくするなどの配慮をする。 ・日々の清掃と共に、年3回の大掃除を行っている。 ・より過ごしやすい施設になるように必要のないものは撤去する。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	40	4	0	1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	40	4	0	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	42	2	0	1		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	42	3	0	0		⑨について ・支援計画と実際の支援が つながっているように、適 宜、支援計画を保護者との 話の中で取り上げていく。 ・保護者のニーズをより細 かく聞き取ることで保護 者が考えている子どもの 特性と支援側の理解をす り合わせ、ずれのないよ うにしてい く。 ・支援計画と見比べなが らプログラムを作ってい く。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	43	2	0	0		
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	43	1	0	1		
	8	児童発達支援計画には、「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	42	2	0	1		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	26	10	5	4		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	43	1	0	1		
保 護 者	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	44	1	0	0		⑬ 児童発達支援計画の説明の際、別の部屋をとるなどの場を設定する ⑭ ご家族向けの研修案内（他機関を含む）を、声かけやLINEなどでもっと告知していく。 ⑯ 個別の面談は、現状ではスタッフからの提案で行われることが多いが、保護者からも面談の希望を出してもらいやすくなるように改善していく。 ⑰ 今後とも保護者とお子さんに共感的に寄り添った支援を行っていく。 ⑱ 振り返りの時間に声が聞こえにくい時には、別室を利用するなどの工夫をする。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	43	2	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	40	4	1	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	36	5	0	4		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	37	2	1	5		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	41	3	0	1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	44	0	0	1		

への説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	42	2	0	1		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	44	0	0	1		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	38	4	0	3		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	43	1	0	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	42	1	0	2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	31	3	0	11		㊲ 避難訓練に加えて、防犯訓練も行えると良い。 ㊲㊵ 保護者に訓練の実施、安全対策の実施、各種マニュアルの存在を周知していく。例：おたより、LINE、契約時に ㊶ 近隣の医療機関リストを作成する
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	30	3	0	12		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	26	5	0	14		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	35	4	0	6		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	44	1	0	0	子どもがスタッフや他のお子さんと一緒に活動できることを毎回楽しみにしており、満足しています。とても満足しております。いつも柔軟に対応してくださりありがとうございます。とても満足しています。いつもありがとうございます。	・引き続き、ご家族とお子さまにとつて、安心感のある支援を続けていく
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	44	1	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	42	2	0	1		

事業所名 発達支援ルーム にこっと 高円寺教室

(児童発達支援)

公表日：2026年 3月 25日

回答数：13

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	13	0	2.遊び対応のためのスタッフも考慮されている 3.入口の階段、荷物やベビーカーがある際はスタッフが付き添っている。 3.安全点検をスタッフ研修として行っている 5.事前に部屋の使用予定を確認し、確保している	3.階段の段差がある 4.個別療育スペースの防音はしているが十分ではないため、お子さんによっては注意がそれやすい・緊張しやすい姿がある
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	13	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	5		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	13	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	13	0		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	13	0	8.日々の中での意見を出している	9.第三者評価の機会があると良い
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	1		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	10		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	13	0		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12	1	13.他スタッフとも日常的に子供についてのやり取りができる 14.担当と責任者のみの把握にならないよう、打ち合わせで計画に沿った発言をスタッフが共有している 17.振り返りの時に次回の活動内容も相談して決めている。 17.特にグループは皆で意見を出し合っている 18.振り返りなどで、他スタッフのプログラムも参考にできる 17.分からないときに、様々な専門の立場から沢山の助言がもらえる 21.時間が少ない中でも実施するよう心掛けている	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	13	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12	1		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	13	0		

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	13	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	13	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	13	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	13	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	13	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	13	0	26.希望をいただいた際に、保育園・幼稚園と電話連携・訪問を実施して 27.就学支援シートのシステムを活用している 31.子ども家庭支援センター・保健センターとケース会議を実施している	26.全ての利用者に対してはできていない。 31.研修会などの案内をいただいている。今年度はSV等は受けていない。 32.お子さんの交流という形での関わりは実施していない
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12	1		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12	1		
	28	(センターのみ回答)				
	29	(センターのみ回答)				
	30	(センターのみ回答)				
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	10	3		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	13		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	13	0		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	13	0		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13	0		36.お子さんの意見は十分に聞くことができていないので、お子さんが感じている思いを理解し、反映するようにしている。

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	13	0		きたい。 39.父母会等は、現在実施していない 39.グループ療育の振り返りの際には、保護者同士の交流の時間がある。個別療育のみを利用されている方は交流の機会が少ない。 39.兄弟同士での交流の場は設定できていない。 44.地域住民に開かれた行事は実施していない。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	13	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	13	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	13		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	13	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	12		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12	1	45.アレルギー確認あり(お茶・水のみの理由を説明している) 45.小麦アレルギーの児童には小麦粉粘土を使わない等の配慮をしている	45.保護者への周知が弱いので、引き続き、おたよりで知らせていく 45.感染症の出欠についてのルールを掲示だけでなく、LINE等で周知することも必要 46.具体的な行動を、皆で共通認識を持つ機会があればいい 46.BCP計画を通して、地域の人との交流は考えてもいいかもしれない 47.予防接種は未確認 48.食事の提供がないため、指示書はいただいていない 50.安全計画はまだ周知していない 53.左記の理由により、身体拘束についての記載はない
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13	0	46.防犯訓練について以前研修してもらいありがたかった 46.安全に過ごせるような対策はしている(部屋の点検・危険個所のチェック)	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11	2	47.発作に関しては確認している	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	5	53.教室として身体拘束はしないという決定をしており、マニュアルや指針を職員間で共有している。そのため、個別支援計画には特に記載をしていない	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	2		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	4		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	9		

公表

事業所における自己評価総括表

事業所名	発達支援ルーム にこっと 高円寺教室		事業種類	放課後等デイサービス
保護者評価実施期間	2025年 12月 20日 ～		2026年 1月 12日	
保護者評価有効回答数	(対象者数)	48	(回答者数)	28
従業者評価実施期間	2026年 1月 15日 ～		2026年 1月 23日	
従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	10
事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 25日			

事業所の強み（※）と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや 意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
多様な専門職が互いに協力をして、療育を行うことができる。	子どもの特性や困り感について、常に複数のスタッフで打ち合わせや話し合いの場を設けている。	各専門領域を活かした療育の研修を充実させることで、より専門性を活かせる職場を作っていく。
療育の事前準備、事後の振り返りの時間を十分に設けている。	グループ活動の狙いに則して、スタッフ配置や動き方を共有して、療育に臨んでいる。	グループリーダーなどの役回りに囚われず、スタッフ全体が支援に携わる活動を充実させる。
各曜日に来室する利用者をスタッフ全員で支援する体制が作られている。	グループ内、前担当、教室間での共有を意識的に行っている。 遊びの時間にも複数のスタッフが関わることで、教室全体で支援する環境を作っている。	教室内の別曜日や、教室間での連携や情報共有の機会を充実させる。

事業所の弱み（※）と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
活動の目的や狙い、行っている配慮などを十分に利用者へ伝えきれていないケースが時折、見られる。	保護者と個別に面談や情報共有を行う時間や頻度にばらつきが見られる。	教室やグループで何を大切にしているかや工夫、配慮について保護者やお子さんと共有の認識を持つことができるように言語化することを意識する。
スタッフにより経験年数や療育についての知識に差が見られる。	事例検討などの機会はあるが、頻度としては多くない。そのため、相談や検討をするスタッフに変化が少ない。	事例検討や研修の機会を増やし、より多くのスタッフ間で知識や教材の共有を図れるようにしていく。

事業所名 発達支援ルーム にこっと 高円寺教室

(放課後等デイサービス)

公表日：2026年 3月 25日

利用児童数： 48

回答数： 28

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	25	3	0	0		1．スペースの使い方や活動を工夫していきながら、にっこにご通信などを通して発信していく。 3． 階段では、ベビーカーなどがある場合、積極的に手助けをしていく。 4． 消毒を引き続き徹底していく。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	28	0	0	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	27	1	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	28	0	0	0		
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	26	1	1	0		5． 支援内容やお子さんへの対応の理由を意識しながら振り返りで伝えていく。 放デイとしての目的、児発との違いやできることを再度確認していく。 9． 支援計画をグループスタッフ間でより共有していく。 更新のタイミング以外でも計画を確認しやすい環境を作る（支援計画をまとめて確認できるファイルを作る等）。 1 1． にこっと側からの働きかけの必要性について検討していく。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	27	1	0	0		
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	26	1	1	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	27	0	1	0		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	26	2	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	27	1	0	0		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	14	6	8	0		
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	27	0	0	1	保護者同士の交流の場があれば是非参加したいと思います	1 2． 利用開始時に説明はしているが、定期的（年度のはじめなど）に伝える機会を設ける。 1 4． 掲示を整理して、保護者に見やすいような工夫をする。 1 8． グループの振り返り時に、保護者間の意見交換の場を設けることを検討する。 1 9． 相談ができる体制は整っているが、すべての方へ周知できるように発信する。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	27	0	0	1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	23	0	1	4		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	26	1	0	1		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	27	0	0	1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	27	0	0	1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	7	2	10		

守	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	4	0	5		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	26	1	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	21	2	0	5		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25	0	0	3		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	4	0	7	避難訓練はあるそうだが、実際に体験したことはまだない	24. 年度途中の利用者にも避難訓練の機会を設ける。 教室内での訓練だけでなく、階段を下りるまで、入り口まで、という訓練の体験も実施していく。 マニュアルや掲示物の位置を周知していく。 25. 口頭で伝えることに加え、用紙の配布やLINEで伝えていく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	5	1	7		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	3	0	6		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22	2	0	4		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	26	1	1	0	丁寧に家庭の事情に寄り添って対応していただいていて助かっています。 とても満足しています。	27. 引き続き、家庭に寄り添った支援を続けていく。 28. 利用している時の子供の言動を見て、不満等がないかを確認していく。 29. 何を大切にして支援を提供しているかを改めて伝えたいので、フ保護者からも聞き取りを行
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	25	2	1	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	26	1	1	0		

事業所名 発達支援ルーム にこっと 高円寺教室

(放課後等デイサービス)

公表日：2026年 3月 25日

回答数：10

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	1	1.子供同士がぶつからないように動線を設定している 3.入口階段はスタッフが付き添いや見守りをしている/スタッフが荷物を持ちたり	1.3,4年生のグループ療育時は人数によっては狭さを感じる時がある→動線設定工夫（7人以上の時は机配置を工夫）
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	1	子供の安全を見守っている/打ち合わせで配置を決めている/パーティションで仕切り/危険防止の分かる表示がされている	2.スタッフの人数が少ない日には、幼児担当との連携をしている(子供の人数に対して－1の配置。最低でも2人配置)
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか	6	4	4.日々の掃除や定期的な大掃除に取り組んでいる/衛生チーム中心に清潔面は向上している/毎朝の清掃、Gr終了後の消毒をしている	3.個別療育の部屋は、人数が多いと声が大きく話が聞き取れないことがある
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	0		5.体の大きい子には机が低いため、高い机の購入を検討する
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	0		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10	0	6.半年ごとに目標設定の教室長と面談がある 8.教室MTG・PJチームMTGがある	10.スタッフの経験や資格に応じた研修の種類があると良い
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	10.研修チームを中心に、外部研修の情報も共有されている 11.内容を考えて色々あるのがよい	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	8		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0		
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0	13.直接支援に携わるスタッフが作成している 14.打ち合わせで計画に沿った内容をスタッフが共有している	12.検査結果を、支援計画にもっと反映していく余地がある 14.誰でも見られる環境はあるが、より全員で共有する機会を作っていきたい
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10	0	15.複数のアセスメントを使用し支援につなげている 17.話し合いの場が設けられている/午前・午後で打ち合わせを行い個々の専門性を取り入れることができています	17.リーダーの負担が大きい時もある 24.地域支援の面を工夫していきたい
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0	18.打ち合わせの際に話し合っている/同じ活動でも方法や動き方を伝え、ステップアップを図るようにしている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	3	20.事前打ち合わせと次回につなげる振り返りを徹底している	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	0	24.地域交流活動は実施していないが、他の3つは個別療育とグループ療育を通してバランスよく行っている（自立支援活動・生活能力活動・創作表現活動）	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	1		

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	4		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10	0		
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	1	28.3教室での相互理解の機会がある 就学支援シートを活用して行っている 30.支援計画を活用している 4年生までの利用なので、終了までに 保護者面談を行っている 33.教室長が行っている	28.学校場面の様子の聴取 学校との情報共有はあまりなく、保護者から聞き取っている 29.児童発達支援から放デイへの継続児はよく連携できているが外部からの新規児では少ない。 31.連携や研修はあるが、今年度は助言は受けていない 区の研修の機会や案内は設けているが参加の機会は少ない
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	1		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	2		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	6		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	3		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	10		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	6		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	1		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0		

	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10	0		
保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0		40. 父母の会は実施していない 4 年生のグループを除いて、保護者間の交流機会は設けていない 兄弟同士の機会はない 45. 地域住民に関わるイベントは行っていない
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	8		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	8		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	1	49. 保護者からアレルギーの確認をしている 施設内で食事をとることはない 52. 毎月報告がある 53. 定期的に研修あり 54. 身体拘束はしないことを教室で共有している。また、研修を行っている	49. 保護者に確認しているので、医師の指示書はいただいている
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	1		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9	1		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	7		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	1		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	5		

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 発達支援ルーム にこっと 高円寺教室／永福教室

(保育所等訪問支援)

公表日： 2026年 3月 25日

利用児童数： 15 回答数： 13

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからな い	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	9	2	0	2	安全に配慮され、清潔感もあると 感じる	
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	13	0	0	0		
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	13	0	0	0		
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	13	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	12	1	0	0	保育園にも訪問支援していただい て、情報共有がきちんとできて、 日々の成長に繋がっていると感じる	
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	1	0	0		
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13	0	0	0		
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	12	1	0	0		
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13	0	0	0		
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13	0	0	0		
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	13	0	0	0		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13	0	0	0		
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	10	2	0	1		

保護者への説明等	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	12	1	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	0	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	0	0	0		
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	0	0	0		
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	0	0	0		
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	13	0	0	0		
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	13	0	0	0		
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	13	0	0	0		
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	10	2	0	1		
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	0	0	0		
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	6	4	0	3		
満足度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8	3	0	2		
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	11	2	0	0		
	28	事業所の支援に満足していますか。	13	0	0	0		

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

(保育所等訪問支援)

公表日： 2026年 3月 25日

利用児童数： 15

回答数: 12

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	12	0	0	療育で導入している支援の仕方や、場面に合わせた対応法等、参考になることばかりで、園生活に取り入れやすく、助かっております。 子どもに合ったアドバイスを頂けるので、即実践しています。	
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	11	1	0	子どもの新たになってきた課題についても、訪問時支援案等を伺うことが出来ており、感謝しております。 子どもとの関わり方を教えて頂けたことで、子どもとの関係が作りやすくなりました。	
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	12	0	0	園で子どもたちと接する中で、この支援はどうだったのか迷った時、訪問にて確認させて頂くことで、担任の不安解消になり、感謝しております。 こちらの質問に対して、とても分かりやすく丁寧に答えて頂いています。	
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	9	3	0	療育での様子と訪問時の園での子どもの様子を踏まえて、現状に合った話をしてくださり、助かってます。 本人の特性と療育施設との環境が園の集団生活とは違うため、なかなか難しいです。 解消することは難しいですが、悩みを相談出来ることで精神的負担が軽減しています。	
5	事業所からの支援に満足していますか。	12	0	0	園から保護者の方にアプローチしにくいことを療育施設の立場から保護者へアプローチしてくださり助かっております。 とても満足しています。いつもありがとうございます。	

その他のご意見

- ・今年度、月一で来てくださるので、相談したいことをすぐに伝えられることができ、とても良くして頂いています。又、担当してくださる先生が親身になってくださいます。これからもよろしくお願い致します。
- ・いつも丁寧に様子を見てお話し頂くことで、新たな気付きがあります。保護者へのアドバイスを時間をかけながら的確にして頂けていると感じています。
- ・今後も連携をとっていきたいです。
- ・個別指導なので訪問して集団の中での子どもの姿を見てもらえることは良いことだと思います。
- ・子どもの姿の捉え方や、保護者の意向の共有など、訪問頂き担任と話す機会を持つことは、とても有意義だと思っています。今後も定期的に実施して頂きたいと思います。
- ・発達センターのように支援内容が詳しい訳ではないため、どういった流れで支援内容が変わっていき、どういった書類が必要なのかを説明して欲しかった。
- ・訪問時以外にも電話等で困りごとを聞いて頂き助かりました。ありがとうございました。
- ・園での姿と教室での姿で見られる姿が違うところもあり、見て頂けて良かったです。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 発達支援ルーム にこっと 高円寺教室／永福教室

(保育所等訪問支援)

公表日： 2026年 3月 25日

回答数： 9 名

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・整備・運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	8	0	1 教材、資料は持参していないが、教室に参考図書などがある。	2 訪問の担当スタッフが増えるように育成をしていきたい。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0		
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	1		7 訪問に特化した研修があると良い。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1		
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	6		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	1		
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	9	0	16 報告書により共有している。	6 外部評価はしていない。 13 今後の課題として取り組んでいきたい。 14 訪問支援員と個別療育担当者間で、計画などの情報共有が十分にされていないこともある。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	9	0		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0		
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されている	7	2		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	1		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	2		

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	9	0		
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	9	0		
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	3		20 必要に応じて、杉並区のこども発達センターや児童発達相談係と連携している。 26 年に 1 回、ペアレントプログラムを実施している。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0		
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0		
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。	8	1		
	24	(自立支援)協議会子こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3	6		
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0		
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0		
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0		
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	8	0		
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0		
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	9	0		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	9	0		
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	9		
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0		

	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0		
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0		
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0		
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	9	0		
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	9	0		
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	9	0		
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0		
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	9	0		
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0		
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0		
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0		
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	0		

公表

事業所における自己評価総括表

事業所名	発達支援ルーム にこっと 高円寺教室／永福教室		事業種類	保育所等訪問支援
保護者評価実施期間	2025年 12月 20日 ～		2026年 1月 12日	
保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数)	13
従業者評価実施期間	2026年 1月 15日 ～		2026年 1月 23日	
従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	9
訪問先施設評価実施期間	2026年 1月 15日 ～		2026年 2月 15日	
訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	15	(回答数)	12
事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 25日			

事業所の強み（※）と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや 意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
発達支援の経験が豊かな職員かつ、心理士・作業療法士などの専門職が訪問を担当している。	訪問の報告にあたっては、時間調整を丁寧に行い、保護者に直接お話できるように努めている。	担当するスタッフの数を増やし、より多くのお子さま・保護者・所属園や学校のニーズに応えられるようにしていきたい。
年々、地域の保育園や幼稚園とのつながりや関係性が強くなっていると感じる。	訪問支援員に加えて、個別療育の担当者も同伴して訪問する機会を作っている。	

事業所の弱み（※）と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や 工夫が必要な点等
訪問の頻度が、月 1 回～ 2 カ月に 1 回が多くなっている。より多くの訪問を希望する方へのニーズに応えることが難しい。	教室の中でも、特に専門性や経験が高いスタッフに限定をして訪問支援を担当している。	担当するスタッフの数を増やし、より多くのお子さま・保護者・所属園や学校のニーズに応えられるようにしていきたい。
		訪問支援員のための、研修や事例検討の機会を作る。

